



製品名：KLÜBER L 801

SDS No. 1243-GHS

作成日：2011 年 01 月 06 日

改訂日：2024 年 10 月 01 日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名：KLÜBER L 801

会社名：NOKクリューバー株式会社

住所：東京都港区芝大門1-12-15 正和ビル

担当部署：開発部

TEL:0293-42-5348 FAX:0293-43-3817

E-Mail アドレス:MB_NKL_SDS@nkl.nokgrp.com

www.nokklueber.co.jp

推奨用途：潤滑用途

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
	エアゾール	区分1
健康有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入）	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（肺：吸入）
	誤えん有害性	区分1
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

製品名：KLÜBER L 801

SDS No. 1243-GHS

作成日：2011 年 01 月 06 日

改訂日：2024 年 10 月 01 日

GHSラベル要素：

〔シンボル〕



〔注意喚起語〕

危険

〔危険有害性情報〕

引火性液体および蒸気
極めて可燃性の高いエアゾール
高压容器；熱すると破裂するおそれ
皮膚刺激
（気道刺激性）気道への刺激のおそれ
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ（肺：吸入）

〔注意書き〕

予防策

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
火花を発生しない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
容器および受器を接地すること。
裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。
使用後を含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

対 応

火災の場合には、消火に適切な方法を使用すること。
皮膚(または毛)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

製品名：KLÜBER L 801

作成日：2011 年 01 月 06 日

SDS No. 1243-GHS

改訂日：2024 年 10 月 01 日

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

保 管 涼しい所／換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
日光から遮断し、50℃ を超える温度に暴露しないこと。

廃 棄 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類以外：

他の有害性 製品中の有機溶剤蒸気の吸入により、中毒、神経障害、内臓疾患を誘発する恐れがある。

長時間における皮膚との接触により炎症を起こすことがある。

他の物理化学的危険性 可燃性の高いエアゾール、引火性液体。溶剤の蒸気と空気が混合して爆発性混合物を形成しやすい。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：固体潤滑剤スプレー

成 分	C A S 番号	官報公示整理番号	含有量
原体（合成油、添加剤）	企業秘密により開示不可	企業秘密により開示不可	-
二酸化チタン	13463-67-7	(1)-558	<5wt%
モリブデン化合物	企業秘密により開示不可	企業秘密により開示不可	<1wt%
鉱油：<5wt%、石油系溶剤：<30wt%	企業秘密により開示不可	企業秘密により開示不可	-
LPG（ブタン：35～45wt%、その他）	106-97-8、他	(2)-4、他	-

4. 応急措置

吸入した場合：大量に吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静に保つ。
必要なら医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：付着物を拭き取り、水と石けんでよく洗う。
かゆみや炎症などの症状がある場合は、速やかに医師の診断を受ける。

製品名：KLÜBER L 801

作成日：2011 年 01 月 06 日

SDS No. 1243-GHS

改訂日：2024 年 10 月 01 日

目に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。
無理に吐かせようとせず、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 霧状の強化液、泡、二酸化炭素、粉末が有効。

消火の際、棒状の水を用いてはならない。

特有の消火方法 : 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際には有害なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : ばく露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。必要であれば、十分に換気を行う。

漏出した場所の周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。

付近の着火源、高温体、可燃物を取り除き、消火機材を準備する。

環境に対する注意事項 : 本製品を含む廃水の公共用水域への排出又は地下浸透を防止するため、本製品がこぼれた床面などを水で洗い流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材 : 少量の場合はヘラ、スコップ等を使うか、土砂などに吸着させて蓋付きの空容器に回収し、ウエス等できれいに拭き取る。

火花を発生しない安全な器具等を使用する。

多量の場合は、土砂などで流れを止めた後で回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 接触の恐れがある時は適切な保護具を使用する。

火気厳禁。電気機材は防爆構造にするほか、静電気、スパークによる着火源を生じないようにする。

安全取扱注意事項 : 原則として常温で取り扱い、その際、水分、夾雑物等の混入に注意すること。

ばく露防止のため、保護具を使用して作業を行う。皮膚への接触を避ける。

適切な衛生対策 : 作業中は飲食、喫煙をしない。

保管

安全な保管条件 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所に密栓して保管する。

製品名：KLÜBER L 801

作成日：2011 年 01 月 06 日

SDS No. 1243-GHS

改訂日：2024 年 10 月 01 日

その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 屋内作業には適切な局所排気装置を使用すること。
- 管理濃度 : 規定なし
- 許容濃度 : 鉱油ミスト: 5mg/m³、ブタジエン: 1000ppm (TLV-TWA、ACGIH)

保護具

- 呼吸用保護具 : 状況に応じ有機ガス用防毒マスクを着用
- 手の保護具 : 耐油性の保護手袋
- 目の保護具 : 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态、形状 : 液体 (希釈溶液)
- 色 : 灰色
- 臭い : 石油系溶剤臭
- 比重 : 約 0.89 (希釈溶液)
- pH : データなし
- 滴点又は流動点 : データなし
- 沸点 : データなし
- 引火点 : 約 42°C (希釈溶液)、<-40°C (噴射剤)
- 発火点 : データなし
- 爆発限界 (下限) : 1.5 % (噴射剤)
- 爆発限界 (上限) : 9.5 % (噴射剤)
- 蒸気圧 : データなし
- 相対ガス密度 : データなし
- 水溶解性 : 水に不溶
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 分解温度 : データなし
- 可燃性 : 可燃性エアゾール
- 動粘性率 : データなし
- 粒子特性 : データなし

製品名：KLÜBER L 801

SDS No. 1243-GHS

作成日：2011 年 01 月 06 日

改訂日：2024 年 10 月 01 日

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	：	通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	：	特記すべき反応性なし
混触危険物質	：	強酸化剤
危険有害な分解生成物	：	通常の条件下では発生しない

11. 有害性情報

急性毒性	：	【経口】 計算式 $100 / (\text{判定対象製品の毒性値}) = (\text{各成分の濃度} / \text{各成分の毒性値})$ の合計 より得られた毒性推定値が 2000 より大きいため、区分外とした。
皮膚腐食性/刺激性	：	皮膚刺激。「区分 2 の成分（石油系溶剤）の濃度合計が 10%以上（希釈溶液中）」を満たすため、区分 2 とした。 長時間における皮膚との接触により炎症を起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：	現在のところ知見なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：	現在のところ知見なし
生殖細胞変異原性	：	現在のところ知見なし
発がん性	：	現在のところ知見なし
生殖毒性	：	現在のところ知見なし
特定標的臓器毒性		
単回ばく露	：	気道への刺激のおそれ。区分 3（気道刺激）に該当する成分（石油系溶剤）が 20%以上（希釈溶液中）含まれるため、区分 3（気道刺激）とした。
反復ばく露	：	長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ。区分 1（肺：吸入）に該当する成分（二酸化チタン）が 1%以上 10%未満（希釈溶液中）含まれるため、区分 2（肺：吸入）と

製品名：KLÜBER L 801

SDS No. 1243-GHS

作成日：2011 年 01 月 06 日

改訂日：2024 年 10 月 01 日

した。

誤えん有害性 : 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ。区分 1 に分類される成分（石油系溶剤）が 10%以上（希釈溶液中）であり、動粘性率が 20.5mm²/s 以下であるため、区分 1 とした。

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : 現在のところ知見なし

残留性・分解性 : 現在のところ知見なし

生体蓄積性 : 現在のところ知見なし

土壌中の移動性 : 現在のところ知見なし

その他の情報 : 現在のところ知見なし

1 3. 廃棄上の注意

(1) 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

(2) 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去しておくこと。

(3) 廃棄は法令に従い、適切に処理すること。

1 4. 輸送上の注意

注意事項 : 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

国際法規制

航空・海上輸送 : 航空輸送は IATA、海上輸送は IMDG の規則に従う



製品名：KLÜBER L 801

SDS No. 1243-GHS

作成日：2011 年 01 月 06 日

改訂日：2024 年 10 月 01 日

国連番号

I A T A : 1950

I M D G : 1950

輸送品名

I A T A : エアゾール、引火性

I M D G : エアゾール

クラス又は区分

I A T A : 2.1 (引火性ガス)

I M D G : 2.1 (引火性ガス)

容器等級

I A T A : —

I M D G : —

応急措置指針番号 : 115

1 5. 適用法令

労働安全衛生法

表示対象物質 : 二酸化炭素、鉱油、ブタン

通知対象物質 : 二酸化炭素 (No.191)、鉱油 (No.168)、ブタン (No.482)、モノアミン化合物 (No.603)

その他 :

化学物質管理促進法(PRTR 法)

第一種指定化学物質 : 非該当

第二種指定化学物質 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 危険物第 4 類第 2 石油類 (非水溶性) 危険等級III



作成日：2011 年 01 月 06 日

改訂日：2024 年 10 月 01 日

輸出貿易管理令 : 別表1の16項(キャッチオール規制)

•

(1) 引用文献

GHS 關係各省による分類結果 製品評価技術基盤機構

また、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。